

English Training Course for Engineering Students

大阪大学 理工系学部学生のための

海外英語研修コース

Monash University English Language Centre

MELBOURNE

国際交流科目として単位化(2単位)を予定

モナシュ大学 [オーストラリア メルボルン] イングリッシュ・ランゲージ・センター

- 個々のレベルに応じた
インターナショナルクラスでの英語レッスン
- 理工系学部学生向け特別レクチャー
- 工学系企業や大学施設等へのサイトビジット
- 現地の一般家庭にホームステイ

2011年

研修期間: 8月29日(月)出発 ⇒ 9月26日(月)帰国 [29日間]

参加対象: 大阪大学 理工系学部生(1~4年生)

募集人数: 10~20名程度

募集受付: 4月1日~5月31日 情報サイトからWeb登録でお申し込みください。
※申込者多数の場合、締め切りを早める場合があります。



吹田キャンパス風景
(Monash University, Caulfield Campus)

説明会を開催します

- 4月1日 **お詫び**
基礎工学科 東日本大震災の影響で、モナシュ大学
担当者の来日が見送られたため、大阪
大学の担当者による説明になります。
- 4月1日
工学部 U2-211講義室 (吹田キャンパス)
- 5月20日(金) 17:00~18:30
工学部 U2-211講義室 (吹田キャンパス)
※この回は、モナシュ大学担当者によるプログラム説明を予定しています。
個別のお問い合わせ・ご相談は、工学部 留学生課で随時受け付けます。

大阪大学 理工系学部学生のための海外英語研修コース

オーストラリア/メルボルン/モナシュ大学 イングリッシュ・ランゲージセンター

29
日間

日次	日付	スケジュール
1	8/29 (月)	11:00 関西空港発(SQ619) → 16:40 シンガポール着(乗継) 21:00 シンガポール発(SQ227) →メルボルンへ 機中泊
2	8/30 (火)	06:20 メルボルン着 着後、専用車でモナシュ大学イングリッシュ・ランゲージ・センターへ 大学到着後、キャンパスツアー、オリエンテーション等 その後、ホームステイ先へ ホームステイ
3 5 27	8/31 (水) 9/27 (土)	●月～金曜日のうち3日 ELICOSプログラム(一般英語コース) 多国籍クラスで他の留学生と一緒に学びます ●月～金曜日のうち2日 理工系学部学生のための特別プログラム 理工系トピックスについての特別レクチャー フィールドトリップ(2回) 現地の学生との交流 ●土・日曜日 授業はありません ホームステイホストや友人等と自由にお過ごしください ホームステイ
28	9/25 (日)	午前:専用車で空港へ 15:45 メルボルン発(SQ228) → 21:35 シンガポール着(乗継) 機中泊
29	9/26 (月)	01:20 シンガポール発(SQ618) → 関西空港へ 08:50 関西空港着 解散

※掲載スケジュールは予定です。現地の都合や天候により変更となる場合があります。

◆参加費用
(1名)

約 **450,000円**

※オーストラリアETAS(電子ビザ)取得代行費用を含みます。
※燃油サーチャージ、関西国際空港施設使用料、現地空港諸税、海外旅行保険料は含まれません。
※参加者には若干の助成金支給の可能性あります。

利用予定航空会社	シンガポール航空(SQ)(エコノミークラス)
食 事	現地滞在中 1日3食
募 集 人 数	10~20名程度
滞 在	ホームステイ 個室、同一家庭に他の日本人学生、他国籍の学生が滞在している場合もあります。
レ ッ ス ン	少人数英語クラス(多国籍クラスで一般英語を学ぶELICOSプログラムと 理工系学部学生向けにカスタマイズした特別プログラムの両方を受講します。)
空 港 送 迎	現地スタッフが空港でお出迎えし、帰国時も空港までお見送ります。 ※掲載スケジュールは予定です。現地の都合や天候により変更となる場合があります。 ※利用キャンパスはCaulfieldかClaytonのいずれかになります。

モナシュ大学 Monash University

モナシュ大学はオーストラリアの名門8大学のひとつで、創立50年の新しい大学ですが、質の高い学術研究系に重点を置き世界的にも評価が高い大学です。国内にある6つのキャンパスの他、南アフリカやマレーシアにもキャンパスがあり、世界のTOP50に入る大学として知られています。



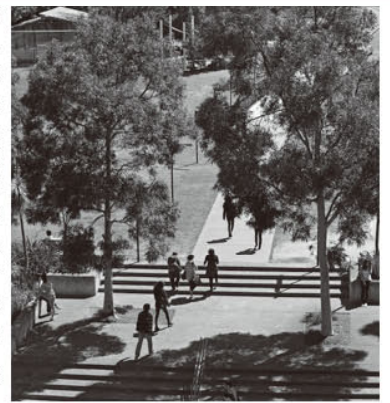
キャンパス風景
(Monash University, Clayton Campus)

モナシュ大学 イングリッシュ・ランゲージ・センター (MUELC)

Monash University English Language Centre (MUELC)はモナシュ大学傘下の規模の大きな語学学校のひとつです。また、ホームステイ先は厳選審査で選ばれていますので、安心してファミリーの一員として留学生活をお過ごし頂けます。また、現地で困ったことや相談したいことがあれば、経験豊かな学生ケア専門の日本人スタッフや、万々に備えての24時間のサポート体制も整っているので安心です。

プログラム内容

他国の留学生と一緒に勉強するEnglish Language Intensive Courses for Overseas Student(ELICOS)プログラムと、理工系学部学生のための特別プログラムの2種類の英語レッスンを受講していただくことができます。ELICOSプログラムは、それぞれの英語力に合わせて他国の生徒と一緒に学ぶ国際クラスです。特別プログラムは、理工系分野に関するレクチャーやサイトビジット等が用意されています。レクチャー前後には、内容の理解を深めるための指導があり、プログラム最終日には理工系に関するトピックでプレゼンテーションを行っていただきます。



キャンパス風景
(Monash University, Caulfield Campus)



ビクトリア州の州都メルボルンは 重厚な建物が連なる歴史ある街

人口370万人を誇るオーストラリア第2の都市。基礎の目のように区画された街並みに歴史的な建物や庭園や美術館・博物館が点在し、通りを路面電車が行き交う風格ある街です。別名「ガーデンシティ」とも呼ばれ市内にはたくさんの公園があり、人々の憩いの場となっています。

●9月のメルボルンの気温…最高17℃/最低8℃(大阪…最高28.4℃/最低20.6℃)



交通の要衝フリンダースストリート駅



クラシカルな雰囲気ブロックアーケード

◆ 参加者の声 ◆



短い期間の研修でしたが、非常に有意義なものとなりました。実際に現地で生活し、色々な方々と英語を通してコミュニケーションしたことで、たくさんを経験できました。たとえば拙い英語でも、一生懸命伝えようすれば伝わること、英語が使えれば世界中の人々とコミュニケーションができることなど、生の体験を通して学ぶことができました。



オーストラリアの異文化の中で過ごした経験は、自分の考えの幅を広げるためにすごく役に立ちました。そして、日常生活から外国人と英語で話すという環境で、英語学習への意識が強くなりました。メルボルンは本当に楽しかったです。実際行ってみたいとわからないことがたくさんあります。それが、留学の醍醐味ではないでしょうか。

受付・お問い合わせ

大阪大学 大学院工学研究科・工学部 留学生相談部

吹田キャンパス GSEコモンウエスト(低層棟1F)U1w-111 TEL:06-6879-8972

E-mail: oz-program@fsao.eng.osaka-u.ac.jp

情報サイト: http://english.fsao.eng.osaka-u.ac.jp/summer_prog/ozprog2011.html